

総合研究所共同研究発表会(平成28年度採択共同研究)プログラム (5/2 修正版)

日 時 : 平成29年5月13日(土) 9:30~

会 場 : 本学本郷キャンパスB館4F


発 表 者 : 平成28年度採択共同研究チームおよび学長裁量経費チーム (全27チーム)

進 行 : 本学総合研究所所長

開 会 式 : 9:30~ <B-410教室>

※1チームあたりの時間は発表25分、質疑10分、移動5分

(敬称略)

教室 時間	B-410教室 A会場 司会:経営学部長	B-411教室 B会場 司会:保健医療技術学部長▶大橋幸子 先生に変更	B-408教室 C会場 司会:総合研究所所長	B-406教室 D会場 司会:人間学部長
9:50~ 10:25	経営学部1 池田芳彦、大野和巳 日系企業の国際展開の動向	保健医療1(看護) 湯本敦子、川鍋沙織、高橋真理、青柳優子、太田康江、佐々木裕子、藤本薫 産褥期ペアレンティング教育“ <i>What Were We Thinking!</i> ”(日本語版)の有用性の検討	保健医療2(作業) 柴田貴美子、嶋崎寛子、川端佐代子、栗城洋平、西方浩一、柄田毅 板倉達哉、齋藤美紗子、伊藤莉奈、小林達哉 学齢期の発達障害児とその保護者へのSSITプログラムの効果	人間学部1 笹岡真弓、出村早苗、原田とも子、宮内佳代子  急性期病 院における「ソーシャルワーク必要介入基準」および職務明細書(Job Description;JD)の検討
10:30~ 11:05	経営学部2 島田昌和、川越仁恵 渋沢敬三の社会経済思想—実業史博物館構想に見る経営史アプローチ	保健医療8(理学) 野部裕美、和田直哉、鈴木諒子、坂井泰、石田行知 炎症性腸疾患における副交感神経作用薬の関与	保健医療3(作業) 藤谷克己、眞野容子、佐伯秀久、久保田信雄 真菌(足白癬菌)汚染状況の疫学的調査及び簡易検査方法の開発に関する検討	学長裁量経費3(人間) テーマ「永久サポート大学」 木村浩則、寺島拓幸、日名子孝三、中山智晴、鳥羽美香、小林剛史 高校側のニーズを活かしたトータルな学生支援プログラムの構築
11:10~ 11:45	経営学部3 馬渡一浩、公野勉 地域発コンテンツによる地方ブランディングの実地検証—実写コンテンツを基軸として(2)	保健医療9(理学) 上條史子、大竹祐子、上田泰久 姿勢安定度に寄与する身体機能についての検討	保健医療4(作業) 齊藤慶一郎、安永雅美 拇趾伸展動的装具が姿勢制御に与える影響について	学長裁量経費5(人間) テーマ「ストレス耐性のある人材育成」 畑倫子、上村佳世子、山崎幸子 大学キャンパス内の居場所と回復環境
11:50~ 12:25	学長裁量経費4(経営) テーマ「ストレス耐性のある人材育成」 新田都志子 障がい者スポーツにおけるマーケティング実践を通じた多面的価値観促進のための教育プログラム	保健医療10(臨床) 山田哲夫、関貴行、内原俊記 アルツハイマー病のタンブル形成・進化に潜む タウ・イソ蛋白遷移:5重IF-銀染色とLMD-MSによる解明	保健医療5(作業) 大橋幸子、宮寺亮輔、古田常人、田中善信、原弘樹 選択的注意機能及び二重機能遂行機能の定量的評価と転倒予防トレーニングの開発	学長裁量経費6(人間) テーマ「ストレス耐性のある人材育成」 椛島香代、松村和子、木村浩則、嶋山多加子、柄田毅、木村学、森下葉子 保育・教育に必要なストレス耐性—専門職養成の在り方を考える—
12:25 ~ 13:30	休 憩 <12:30~13:20 ランチタイム・カンファレンス…自由参加型学部横断情報交換会…昼食各自持参>B-506教室 平成29年度共同研究費支給対象者向けオリエンテーション(13:00~13:20:B-507教室) 総合研究所学術振興委員会(12:30~13:00:B-811会議室)			
	B-410教室 A会場 司会:経営学部長	B-411教室 B会場 司会:外国語学部長▶牛江先生に変更	B-408教室 C会場 司会:総合研究所所長	B-406教室 D会場 司会:保健医療科学研究科委員長
13:30~ 14:05	学長裁量経費1(臨床) テーマ「永久サポート大学」 山田哲夫、関貴行 臨床検査学科病理卒前・卒後教育としての脳大標本作製	外国語学部1 与那覇信恵、Gilner, Leah オンライン英語語彙力診断テストの開発	保健医療6(作業) 宮寺亮輔、大橋幸子、古田常人、白石和也、増田浩了 眼球運動と注意機能に着目した転倒回避プログラムの開発	外国語学部4 鈴木豊、川崎清 ライマン法則探求(2)
14:10~ 14:45	学長裁量経費2(臨床) テーマ「支援に必要とされるコミュニケーション技法」 関貴行 五街道ウォーク学生実行委員のコミュニケーションスキルの成長に与える委員会活動効果の分析	外国語学部2 Gary V. Ireland, Robert Van Benthuyzen A Research Study into Vietnam's Project 2020	保健医療7(作業) 嶋崎寛子、柴田貴美子、小林法一、小林幸治、小野田修一、及川友好、伊藤裕貴子、岩城啓子 大震災後の災害公営住宅における集会所のプログラムの効果検証	保健医療11(臨床) 眞野容子、古谷信彦 反復性尿路感染症の病原因子の探索と再発メカニズムの解析
14:45 ~ 15:20	/		外国語学部3 甲斐田万智子、南雲勇多 子供の権利実現における開発途上国と先進国の協働の可能性	外国語学部5 甲斐田きよみ、三好高弘 地域おこし協力隊が農山村地域の再生に与える影響について
15:20	閉会式 <B-410教室>			

★ランチタイム・カンファレンスとは? 研究の発想や方法論が異なっても、同じ領域をリサーチターゲットとしている研究者たちが集いつつ、相互に情報交換を行い、さらには学際的かつ高度な共同研究グループの結成を目前に実験的な試み。次年度に向けての共同研究グループ結成を意図しているとともに、科研費(基盤研究A, Bレベル)申請に向けての準備の契機としていきます。